

社会福祉法人として 災害発生時の対応を検討しています



令和元年9月9日、首都圏を大型台風が直撃しました。今なお不安な日々を過ごされている方がいらっしゃることに胸を痛めています。私たちも、「施設が開所できるだろうか」「電車が動かない中、職員体制は十分だろうか」等、改めて考えることがたくさんありました。

9月は防災月間です。

私たち法人では、東日本大震災以後、様々な災害発生時の対応を各運営施設で防災マニュアル（事業継続計画（BCP））としてまとめています。また施設内の避難訓練にとどまらず、地域の方と合同での訓練等にも取り組み始めています。

社会福祉法人として「地域とともに生きる」べく、今年度は様々な取り組みを行っています。まだスタートに立ったばかりですが、社会福祉法人として、これからも私たちにできることを模索していきます。



（今年度の取り組みの一例）

- ・近隣町会の方と合同防災訓練を実施
- ・保育園主催の AED 講習会に地域の方をご招待
- ・地域の方と共助出来るよう近隣町会の会議に出席
- ・実施事業に合わせた非常用物資の充実

等